

「九州圏広域地方計画」の構成図

第1章 計画策定の意義と計画の性格

1. 計画策定の意義

2. 計画の性格

第2章 九州圏における現状と課題

第1節 九州圏の位置づけと圏土構造の特徴

1. 東アジア、近接地域等に開かれた九州圏
2. 基幹都市圏が適度に分散し都市と自然が近接する圏土構造
3. 九州圏全体を牽引し次世代を担う産業の集積
4. 離島を抱く外洋に囲まれ、急峻な山地と急流河川、豊かな森林・清冽な水資源に恵まれた自然環境

第2節 21世紀前半の経済社会情勢の転換と九州圏の課題

1. グローバル化の進展と東アジアの経済発展への対応
2. 本格的な人口減少・少子高齢化の進行と九州圏の自立的な発展
3. 安全・安心、環境・景観等への関心の高まりと地球温暖化等への対応
4. 値値観、ライフスタイルの多様化と新たな活動主体の成長

第3章 新たな九州像

第1節 21世紀前半における新たな発展の基本理念

- ① 東アジアとともに発展し、我が国及び世界の人々が暮らし、働き、投資したい圏域として活力と魅力あふれる九州圏となっていくこと
- ② 豊かな自然と魅力ある都市の利便性を享受できる暮らしと多様な価値観に応じて多彩な生活や就業を実現する九州圏となっていくこと

第2節 新たな九州像

1. 東アジアの成長と連動し自立的に発展する九州圏の形成
2. 豊かな自然と都市的利便性を享受し多様な活躍の場を創出する九州圏の形成
3. 安全・安心で美しく誇りが持てる九州圏の形成

第3節 新たな九州像を描く期間 今後概ね10カ年間

第4章 新たな九州像の実現に向けた戦略目標

第1節 戦略展開の基本的な考え方

1. 九州圏の自立に向けた圏土の基礎づくり
三層からなる自立圏の創造／広域的連携による地域力の向上
2. 多彩な人材・担い手の確保と多様な主体の参加・連携

第2節 新たな九州像の実現に向けた戦略目標

1. 東アジアへのフロントランナーとして発展する九州圏の形成
2. 基幹都市圏を核とした多極型圏土構造と九州圏の一体的な発展
3. 災害・環境ハザード最前線における安全・安心で美しい九州圏の形成
4. 拠点都市圏と多自然居住地域の交流による都市自然交流圏の形成
5. 生活中心都市を核とした安心でゆとりある基礎生活圏の形成
6. 離島・半島、中山間地域等の地理的制約を克服する豊かな定住環境の形成
7. 九州圏の各地域の個性を活かした先導的な地域づくり

第5章 戦略目標に沿った広域連携プロジェクト

第1節 東アジアへのフロントランナーとして発展する九州圏の形成

1. 東アジアと我が国との関係をリードする魅力ある国際交流フロンティアの形成
2. 九州圏の持続的な成長を実現する成長型・牽引型産業群の形成
3. 東アジアへの近接性等を活用したフード・観光アイランドの形成
4. 新たな発展を実現する東アジア、広域ブロックとの交流・連携の推進
5. 東アジア、近畿圏以西と直結する九州新幹線の整備インパクトの最大化

第4節 拠点都市圏と多自然居住地域の交流による都市自然交流圏の形成

1. 広域的な都市的利便性を実現する拠点都市圏の形成と集約型都市構造への転換
2. 水・緑・食・安全等の互恵関係を実現する都市自然交流軸の形成

第5節 生活中心都市を核とした安心でゆとりある基礎生活圏の形成

1. 生活支援機能の維持・向上等を実現する基礎生活圏と生活文化交流軸の形成
2. 誰もが安心とゆとりを実感できる子育て・生活環境の形成
3. 生活活動に密着した地域産業の新たな展開

第6節 離島・半島、中山間地域等の地理的制約を克服する豊かな定住環境の形成

1. 地理的制約を克服する生活イノベーションの展開
2. 離島地域における海洋性気候等に恵まれた豊かな定住環境の形成

第7節 九州圏の各地域の個性を活かした先導的な地域づくり

1. 恵まれた地域資源を活用した先導的で創造性あふれる地域づくり
2. 多様な活動主体を基軸とした地域づくりと地域の担い手育成

第6章 計画の効果的な推進

1. 投資の重点化・効率化と総合的なマネジメント
2. 計画の推進
3. 他の計画等との連携